

2 实践事例

小学校

(1) 小学校低学年（道徳）

校種	小学校	学年	低学年	教科等	道徳	キーワード	情報の改ざん
主題名	規則の尊重					指導する時間	1時間
本時のねらい	約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。						
使用する資料	けいじばんの らくがき（自作資料）					指導項目	b1-1:人の作ったものを大切にする心をもつ

小学校第1学年 道徳学習指導案

1 主題名 規則の尊重

- 2 ねらいと資料 ○約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。
○「けいじばんの らくがき」（自作資料）

3 主題設定の理由

児童が成長することは、同時に社会や集団の様々な規範を身に付けていくことでもある。低学年の児童は、まだ自己中心性が強く、自分勝手な行動をとることが多い。このことを考慮して、身近な社会生活における出来事なども取り上げながら、約束やきまりをしっかりと守る態度を育てることが大切である。それとともに、公共物や公共の場所に意識を向けて、みんなで使う物など、具体的な物や場所を大切にする態度が育まれるよう指導していきたい。

本資料は、二人の児童が軽い気持ちで、みんなが見る児童会掲示板に落書きをしてしまい、全校児童に迷惑をかけてしまうという内容である。

指導に当たっては、二人の児童の行為からその時の気持ちを考えることを通して、みんなが使う物など、具体的な物や場所を大切にしようとする態度を育てていきたい。

あわせて、みんなが目にする情報は大切なものであり、その情報を改ざんすることや不正情報の流出等のおかしさにも気付かせたい。

4 事前・事後指導及び他の教育活動との関連

小学校学習指導要領 第1章 総則 第4「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」2（9）において、「各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、～（以下省略）」と記述されているとおり、情報モラルに関する指導については、道徳の時間だけでなく、他の教育活動との関連を図る必要がある。

5 学習指導過程

	学 習 活 動	主な発問と予想される発言や心の動き	指導上の留意点や支援の観点
導 入	1 校内の掲示板に書いていたり貼っていたりするものを思い出す。	○校内の掲示板にはどんなことが書いていますか。また、何のためにあるのかな。 ・児童会の連絡 ・給食の献立 ・クラスの新聞（ニュース） ・みんなに知ってもらうため	・掲示板は、みんなのためにお知らせするものということを押さえる。
展 開	2 挿絵を見て話し合う。 (1) 落書きをした時 (2) 落書きされた掲示板を見ている2人の女の子の会話を聞いた時 (3) 児童会の上級生の言葉を聞いた時 3 手紙を書く。	○まさしさんの話を聞いたさとるさんはどうして「いいよいいよ。ぼくもてつだうよ。」と言ったのだろう。 ・ちょっといたずらしてみたい ・楽しそう ○らくがきした後、2人の女の子の話を聞いたさとるさんはどんなことを思っただろう。 ・全然気付いてないなあ ・おもしろいなあ。他にもやってみようかな ◎児童会の上級生の言葉を聞いたさとるさんはどんなことを考えただろう。 ・みんなが使うものなのに好きに使ってしまった ・みんながいやな気持ちになった ・みんなが使うものを大切にする ・みんなが気持ちよく使えるようにする ○さとるさんに手紙を書きましょう。	・いけないとわかっているさとるさんの気持ちに気付かせる。 ・いたずらに気付かないことを楽しんでいるさとるさんの気持ちに気付かせる。 ・みんなが使うものをどんな気持ちで使っているのかを考えさせる。 補「落書きはダメ」というきまりは何のためにあるのでしょうか。 ・書いたり発表したりすることで、自分の生活とかかわらせながら価値の自覚を深めさせる。
終 末	4 教師の説話を聞く。		

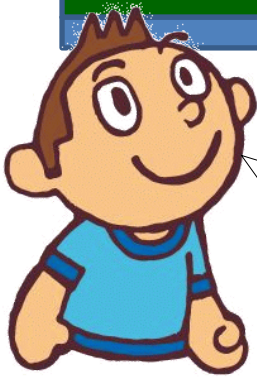
さとるさんへ おてがみを かきましょう。

名前：

ぜんこうの みんなが
もつと なかよく
なるために
おたのしみかいを
けいかくしたいと
おもいます。

クラスから
だいひょういいんを
一めい えらんで
十月 一日の
ひる休みに
じどうかいしつへ
あつまってください。

かつお小学校
じどうかい



まさしさん

ちょっとぐらい
かいても いいよね。

いいよいいよ。
ぼくも てつだうよ。

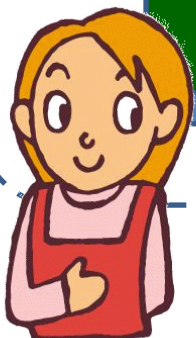
さとるさん



ぜんこうの みんなが
もつと なかよく
なるために
おたのしみかいを
けいかくしたいと
おもいます。

クラスから
だいひょういいんを
二めい えらんで
十月 十日の
ひる休みに
じどうかいしつへ
あつまってください。

かつお小学校
じどうかい



クラスで
ふたりを えらぶのね。

10月10日は、
まだまだ 先ね。



ねえ、あのけいじばんのいた
ずらを見た？

なによ、あれ。



そうなんだよ。ひどいよね。
あれを見たら みんな まちがうよね。

これでは、ぼくたちが うそを かい
たと おもわれるよ。



じどう会での話し合い

(2) 小学校中学年（学級活動）

校種	小学校	学年	中学年	教科等	学級活動	キーワード	ネットコミュニケーション
題材名	うまく伝わったかな？					指導する時間	1時間
本時のねらい	相手が見えないコミュニケーション手段の特徴を理解し、相手の立場を考えた行動をとることができる。						
使用する資料	「適切なコミュニケーション」 出典：文部科学省 情報化社会の新たな問題を考えるための教材～安全なインターネットの使い方を考える～ 動画教材 http://jouhouka.mext.go.jp/information_moral_manual.html					指導項目	
						c2-1：情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る	

小学校第4学年 学級活動指導案

1 題材 「うまく伝わったかな？」

内容（2）ウ 望ましい人間関係の形成

2 題材設定の理由

本題材は、学級活動の共通事項（2）ウ 望ましい人間関係の形成の内容として、インターネット上のコミュニケーションの事例をもとに、望ましい人間関係を構築するためのコミュニケーションのあり方について考えさせることをねらいとしている。

中学年になると、交友関係も広がり、友達との関わりも多くなる。関わりが増えることで、友達との間で相手を傷つける心ない一言を言ってしまい、そのことが継続したトラブルにつながり、人間関係を損なうこともある。

特に、インターネットを介して相手が見えない状況での文字情報のやり取りでは、真意が伝わらなかったり、誤解を招いたりすることがある。多くの児童が所持するゲーム機を使ってのコミュニケーションは、思ったことを正確に伝えることが難しく、誤解を招くことが多い。

本題材を通して、相手が見えない状況でのコミュニケーションにおいては、トラブルが起きうる可能性があることを理解して生活していく必要があることを実感し、実践に生かせるようにしていきたい。

3 指導のねらい

インターネット上のコミュニケーションの事例をもとに、望ましい人間関係を構築するためのコミュニケーションのあり方について考える。

4 評価規準【学級活動（2）の評価規準】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活上の問題に関心をもち、意欲的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。

5 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
ネットゲームについてのアンケート調査に答え、自分の課題について考えておく。	学級の児童の問題の状況を調査等により確認し、家庭へアンケート実施のお知らせ、調査結果をもとに家庭で話し合いをもってもらうこと等を依頼しておく。	【関心・意欲・態度】 コミュニケーションの課題について、真剣に受け止めている。 (アンケート調査)

6 本時のねらい

相手が見えないコミュニケーション手段の特徴を理解し、相手の立場を考えた行動をとることができる。

7 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
導入	1 ネットゲームについてのアンケート結果を見る。 ・ゲームをしている時間・時間帯 ・どんなゲームをしているか ・誰としているか 等	・学級の児童のネットゲームの実態を押さえる。	
	2 動画（導入編）を視聴し、誤解が生じていることに気付く。	・解説動画は見せずに、問題提起の部分のみ視聴する。	
展開	3 どうして誤解が生じたのか、話し合う。 ・相手の気持ちが分かりにくいから。 ・表情がないと気持ちが分からないから。 ・お互いの気持ちを考えようとしなかったから。	・ワークシートに書かせる。 ・お互いが不安感をもっていることを理解させる。	
	4 みんなで話し合い、相手が見えないコミュニケーションの場合、どうしたら誤解が生じないか考える。 ・相手の気持ちを考える。	・相手を思いやることが重要であることを理解させる。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を足さないと思いが伝わらない。 ・相手がどう受け止めるか考えてメッセージを送る。 		
終末	<p>5 自分の課題に合った『努力すべきこと』を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に会ったときのコミュニケーションを大切に、互いの気持ちを考える。 ・相手のことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の課題を確認できるようにし、何をどのように努力したらよいかを考えて、より具体的な自己決定ができるようにする。 ・自分の努力すべきことを頑張りカードに書かせる。 	<p>【思考・判断・実践】 よりよいコミュニケーションのあり方について、<u>どのように生活に生かしていきたいか具体的なめあてを考え、</u>進んで実践している。(頑張りカード・観察)</p>

8 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
自己決定しためあてや取組を振り返る。	自己決定したことを継続するため、頑張りカードにより、定期的に自己評価をさせたり、相互評価をさせたりし、励まし合って取り組ませる。	<p>【思考・判断・実践】 よりよいコミュニケーションのあり方について、<u>どのように生活に生かしていきたいか具体的なめあてを考え、進んで実践している。</u>(頑張りカード・観察)</p>

9 準備物 ワークシート、頑張りカード

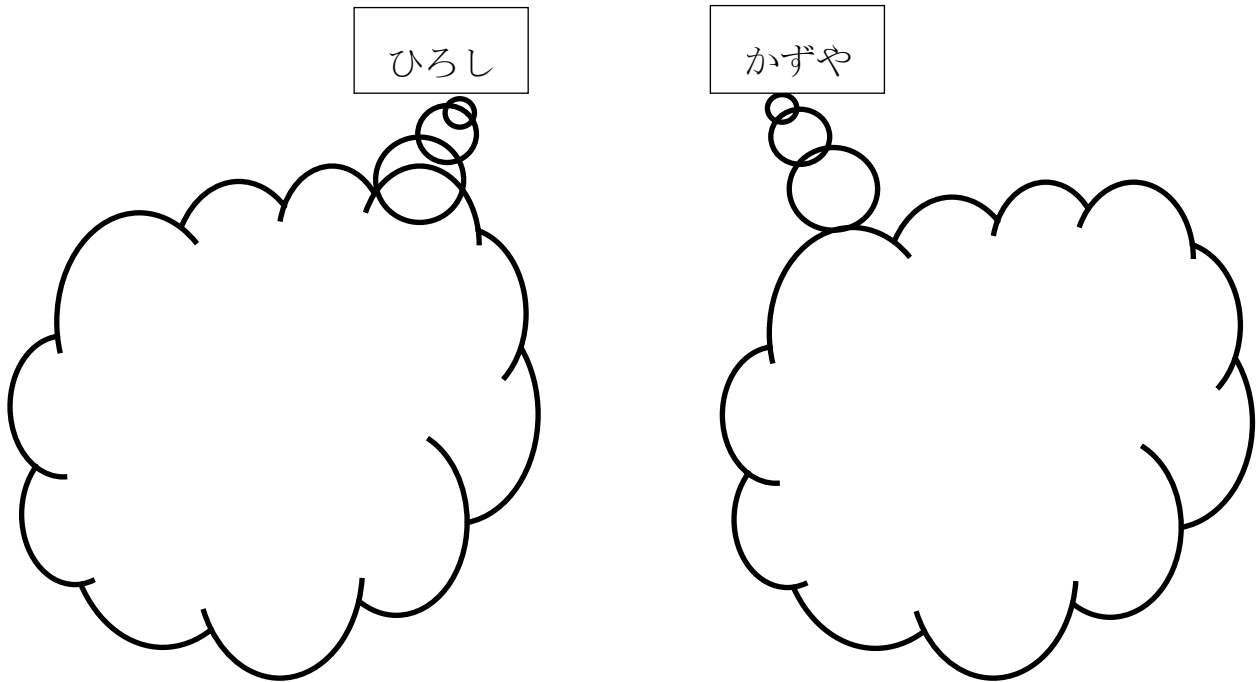
10 備考 動画アドレス

https://www.youtube.com/watch?v=IZJIRDCeaSg&index=29&list=PLGpGsGZ3lmbA0d2f-4u_Mx-BCn13GywdI

／ 年 組 名前 []

うまく伝わったかな？

二人の心の中を考えてみよう。



どうしてすれちがいが生まれたのだろう？

友達とコミュニケーションをとるとき、どんなことに気をつけるとよいでしょう？

がんばりカード

名前： _____

友達とコミュニケーションをとるとき、どんなことに気がつけるとよいでしょう？

※ めあてが守れた日は○、守れなかった日は×をつけましょう。

() 月

日	日	日	日	日	日	日

《振り返ってみよう》

☆お家の方よい☆

=先生から=



(3) 小学校高学年（学級活動）

校種	小学校	学年	高学年	教科等	学級活動	キーワード	ネット被害 保護者啓発
題材名	自分が被害に遭う問題					指導する時間	1時間
本時のねらい	インターネット上には、無料を装って個人情報を取得するサイトやアプリが存在することを理解するとともに、危険を回避し、安全に賢くインターネットを利用する態度を育てる。						
使用する資料	「個人情報を守るのは自分だよ」 出典：文部科学省 情報化社会の新たな問題を考えるための教材～安全なインターネットの使い方を考える～ 動画教材 http://jouhouka.mext.go.jp/information_moral_manual.html					指導項目	
						c3-1:何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない	

小学校第5学年 学級活動指導案

- 1 題材 「自分が被害に遭う問題」
内容 (2)カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 題材設定の理由

本題材は、学級活動の共通事項(2)カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成の内容として、児童のインターネット利用の現状から、日常生活を安全に保つために、進んできまりを守り、危険を回避し、安全に行動できる能力や態度を育てることをねらいとしている。

近年、情報通信ネットワークが急速に進展し、日常生活においてもインターネットや携帯電話等によって、ライフスタイルやコミュニケーションなどが大きく変化している。それに伴い、子どもが事件を起こしたり、巻き込まれたりする事例が増加してきた。そのような中で、子どもたちに危険回避など情報を正しく安全に利用するための情報モラルを身に付けさせ、情報手段を賢く使おうとする態度を育てることが大切である。

具体的には、インターネット利用についてのアンケートを実施し、互いの経験を共有させるとともに、トラブルに遭わないようにするための行動や、トラブルに遭ってしまったときの対処について考えさせることで、インターネットを安全に使うためのルールをつくり、日常生活で実践できるようにしていきたい。また、保護者参加の授業形態で行うことにより、家庭でのルールづくりや点検活動にもつなげていきたい。

3 指導のねらい

児童のインターネット利用の現状から、日常生活を安全に保つために、進んできまりを守り、危険を回避し、安全に行動できる能力や態度を育てる。

4 評価規準【学級活動（2）の評価規準】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、自主的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。

5 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
ネットゲームについてのアンケート調査に答え、自分の課題について考えておく。	学級の児童の問題の状況を調査等により確認し、家庭へアンケート実施のお知らせや参観日での授業への参加等を依頼しておく。	【関心・意欲・態度】 インターネット利用の課題について、真剣に受け止めている。（アンケート調査）

6 本時のねらい

インターネット上には、無料を装って個人情報を取得するサイトやアプリが存在することを理解するとともに、危険を回避し、安全に賢くインターネットを利用する態度を育てる。

7 本時の展開 ●保護者も参加する場面

	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
導入	1 アンケートの結果から、インターネット利用の実態を共有する。 ・情報検索 ・ゲーム ・メール ・SNS ・LINE	・アンケート結果をグラフ化するなど、視覚的に訴える。 ・インターネットの長所を取り上げ、便利な道具であることを再認識する。	
	2 動画（導入編）を視聴し、トラブルが生じていることに気付く。		
展開	3 トラブルが起きた問題点について話し合う。 (1) あかねさんとしょうたさんに共通する問題点と、感じたことについて話し合う。 (2) どうしてトラブルが生じたのか、話し合う。	・「無料」という言葉について考えさせる。 ・ワークシートに書かせる。	

	<p>4 トラブルへの対処法と予防法について、児童グループ、保護者グループそれぞれで話し合う。●</p> <p>(1) トラブルに巻き込まれないためにどうしたらよいですか？</p> <p>(2) もしトラブルに巻き込まれたらどうしますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・保護者それぞれの意見を整理しながらまとめる。 ・最後に解説動画を見せる。 	
終末	<p>5 インターネットを利用する際の自分の課題にあった『努力すべきこと』を決め、発表しあう。</p> <p>※保護者には、「お子さんが困った時にできること」を書いてもらう。●</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で判断することの重要性を、児童に意識付ける。 ・困った時は、身近な人に相談することの大切さも盛り込む。 ・点検カードに書くことで、自分のめあてを意識させる。 	<p>【思考・判断・実践】 安全なインターネット利用について、<u>日常的にどんなことに気を付ければよいか具体的なめあてを考え、進んで実践している。</u>（観察・点検カード）</p>

8 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
自分の立てためあてや取組などについて振り返る。	インターネット利用のルール of 順守について、家庭でも保護者に声がけをしてもらい、定期的に点検するように助言する。	<p>【思考・判断・実践】 安全なインターネット利用について、<u>日常的にどんなことに気を付ければよいか具体的なルールを考え、進んで実践している。</u>（観察・点検カード）</p>

8 準備物 ワークシート、点検カード

9 備考 動画アドレス

https://www.youtube.com/watch?v=aVo4PXjRUs4&list=PLGpGsGZ3lmbA0d2f-4u_Mx-BCn13GywDI&index=9

https://www.youtube.com/watch?v=C5wmCemLp3s&index=10&list=PLGpGsGZ3lmbA0d2f-4u_Mx-BCn13GywDI

／ 年 組 名前〔 〕

どうして自分が被害にあうの？

あかねさんとしょうたさん、二人に共通する問題点は何でしょうか？

また、そのことについて、あなたはどんなふうに感じましたか？

○共通する問題点

○感想

どうしてトラブルが起こったのだろう？

インターネットを利用するときに、気をつけたいことを書いてみましょう。

がんばりカード

名前： _____

☆インターネットを利用するときの自分のめあて！

※ めあてが守れた日は○、守れなかった日は×をつけましょう。

() 月

日	日	日	日	日	日	日

《振り返ってみよう》

☆お家の方よい☆

=先生から=



(4) 小学校高学年（道徳）

校種	小学校	学年	高学年	教科等	道徳	キーワード	ネットいじめ
主題名	公正、公平、社会正義				指導する時間	1時間	
本時のねらい	誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努める。						
使用する資料	「友だちへのネットいじめ」 出典：一般財団法人コンピュータ教育推進センター（CEC） ネット社会の歩き方 http://www.cec.or.jp/net-walk/				指導項目		
					a3-1:他人や社会への影響を 考えて行動する		

小学校第6学年 道徳学習指導案

1 主題名 公正、公平、社会正義

2 ねらいと資料 ○誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努める。

○「友だちへのネットいじめ」

出典：一般財団法人コンピュータ教育推進センター ネット社会の歩き方

<http://www.cec.or.jp/net-walk/>

3 主題設定の理由

社会正義は、社会的な認識能力と人間の平等観に基づく人間愛が基本にならなければならない。公正、公平にすることは、私心にとらわれずだれにも分け隔てなく接し、偏ったものの見方や考え方を避け、社会的な平等が図られるように振る舞うことである。しかし、このような社会正義の実現を妨げるものに人々の差別や偏見がある。よりよい社会を実現するためには正義を愛する心が不可欠であり、自他の不正や不公平を許さない断固とした姿勢をもち、力を合わせて積極的に差別や偏見をなくそうとする努力が重要である。

この段階においては、いじめなどの身近な差別や偏見に気付き、公正で公平な態度を養うことを通して、不正な行為を絶対に許さないという断固たる態度を育てることが大切である。また、社会的な差別や不公正さなどの問題について考え、社会正義についての自覚を深めていく指導を適切に行うことが大切である。

本資料は、インターネットの投稿サイトを中心に描かれている内容である。ある日、主人公コウタが同じ部活の友人から URL の書かれたメモを渡され、ケータイで開いてみると、掲示板に小学校のと同じクラスだったシュンの悪口が書かれていた。後日、シュンが掲示板で自分への悪口に反論したところ、さらにひどい悪口が書きこまれ、それ以来、シュンは学校に姿を見せなくなった。そこで、コウタが掲示板にシュンを擁護する記事を投稿しようとするが、シュンを擁護する書き込みに対して多くの悪口が書きこまれているのを目にし、迷ってしまうというものである。

指導に当たっては、コウタがなぜ迷っているのか葛藤する理由と併せ、差別や偏見のない公正、公平な社会をつくるために、どのような見方や考え方が大切なのかについて話し合うことを通して、掲示板に書かれた悪口に対して、「見て見ぬふりをする」とか、「避けて通る」という消極的な立場で

はなく、不正を憎み、不正な言動を許さない断固とした姿勢をもち、正義の実現に積極的に努めようとする態度を育てていくようにしたい。

併せて、掲示板のもつ社会的影響力の大きさや一度発信された情報は二度と回収したり取りもどしたりできないという情報社会の特性にも気付かせたい。

4 事前・事後指導及び他の教育活動との関連

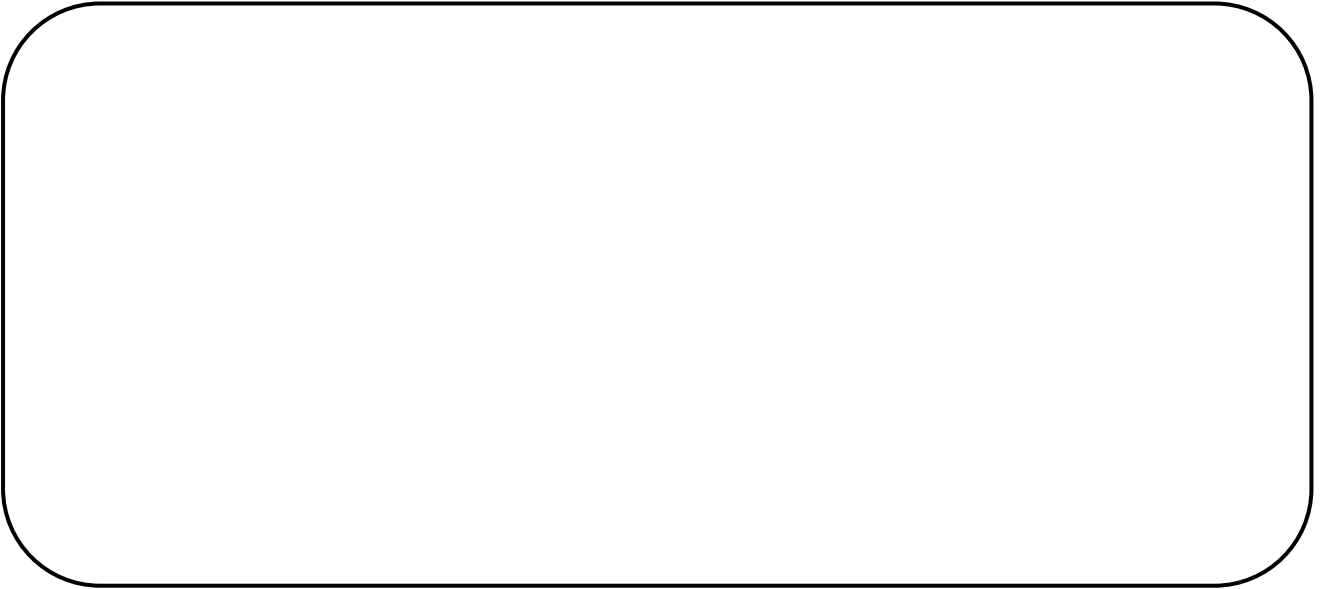
小学校学習指導要領 第1章 総則 第4「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」2(9)において、「各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、～(以下省略)」と記述されているとおり、情報モラルに関する指導については、道徳の時間だけでなく、他の教育活動との関連を図る必要がある。

5 学習指導過程

	学 習 活 動	主な発問と予想される発言や心の動き	指導上の留意点や支援の観点
導 入	1 児童のネット利用の経験について話し合う。	○皆さんのインターネット利用について、事前にアンケートをとりました。その結果を発表します。 ・携帯電話やスマートフォン等の所持率 ・利用時に気を付けていること ・トラブルに巻き込まれた有無とその内容	・児童のネット利用の実態について、事前にアンケート調査を行い、集計結果を提示する。
展 開	2 デジタルコンテンツ「友だちへのネットいじめ」を視聴し、話し合う。	○ネット上の掲示板にシュンさんの悪口が書かれているのを見て、コウタさんはどう思ったでしょう。 ・ひどいなあ ・どうしてこんなことをするのか ・シュンさんがかわいそう ・だれが書いたのだろう ○シュンさんの「こんな書き込みは削除してほしい！」との書き込みに対して、シュンさんに対する悪口がますますひどくなっているのを見て、コウタさんはどんなことを考えたでしょう。 ・許せない ・こんなことをするのはひきょうだ ・勇気を出して書き込んだのにひどい ・ぼくが何とかしなければ	・コウタさんが不正な行為に対して許せない思いを抱いていることに共感させる。

<p>展 開</p>	<p>○今日の授業を通して考えたことを書き、話し合う。</p>	<p>◎コウタさんは「こんな書き込みはいい加減にやめろよ。シュンさんが傷ついてそんなにおもしろいか。」と掲示板に書き、投稿するかどうか迷っています。コウタさんが掲示板に投稿するのを迷っているのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投稿すれば自分の悪口が書き込まれるかもしれない ・投稿しても悪口がなくなるとは限らない ・シュンさんが傷ついているのを見て見ぬふりはできない ・ネットいじめを絶対に許してはいけない ・ネット上に悪口を書かれ苦しんでいるシュンさんのことを学級の問題として取り上げる ・先生に相談する <p>○自分たちの身の回りでも起こりうるネットいじめについて、このようなことが起こらないようにするために大切なことを考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コウタさんが迷っている思いに共感させる。 ・公平、公正な社会をつくるために、どのようなことが大切かについて話し合う。 補 差別や偏見のない公正、公平な社会をつくるためには、どのような見方や考え方が大切でしょう。 ・自分の考えを書き、発表することで、ねらいとする価値への自覚を促す。
<p>終 末</p>	<p>3 私たちの道徳（小学校5・6年）P.184～187を読む。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ネットいじめについて、その不正を許さないために大切にしたい思いを高められるようにする。

■コウタは「こんな書き込みはいい加減にやめろよ。シュンが傷ついてそんなにおもしろいか。」と掲示板に書き、投稿するかどうか迷っています。コウタが掲示板に投稿するのを迷っているのはなぜでしょう。



■あなたは、ネットいじめが起こらないようにするために、インターネットを使う時、どのようなことに気を付けようと思いますか。

